

NY マーケットレポート (2014年7月16日)

NY 市場では、序盤から米長期金利が低下したことを受けて、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。また、米経済指標がまちまちの結果となったものの、反応は乏しく、やや限定的な動きとなった。その後は、ダウ平均株価が最高値を更新するなど、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は底固い展開が続いた。ただ、ユーロは、ECB 理事会メンバーが、経済改革や財政緊縮化を進めなければ、ユーロ圏債務危機が再燃する恐れがあるとの見解を示したことが再び材料視され、主要通貨に対して軟調な動きとなった。

2014/7/16 (水)

| TOKYO | 東京終値 | 東京高値 | 東京安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.69 | 101.77 | 101.64 |
| EUR/JPY | 137.83 | 138.08 | 137.78 |
| GBP/JPY | 174.37 | 174.41 | 174.17 |
| AUD/JPY | 95.10 | 95.32 | 94.92 |
| EUR/USD | 1.3554 | 1.3575 | 1.3551 |

| LONDON | LD高値 | LD安値 |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.80 | 101.67 |
| EUR/JPY | 137.84 | 137.63 |
| GBP/JPY | 174.44 | 174.02 |
| AUD/JPY | 95.16 | 94.98 |
| EUR/USD | 1.3556 | 1.3530 |

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 日経平均 | 15379.30 | -15.86 |
| ハンセン指数 | 23523.28 | +63.32 |
| 上海総合 | 2067.28 | -3.08 |
| 韓国総合指数 | 2013.48 | +0.76 |
| 豪ASX200 | 5518.86 | +7.56 |
| インドSENSEX指数 | 25549.72 | +321.07 |
| シンガポールST指数 | 3304.43 | +13.01 |

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|----------|
| 英FT100 | 6784.67 | +74.22 |
| 仏CAC40 | 4369.06 | +63.75 |
| 独DAX | 9859.27 | +139.86 |
| ST欧州600 | 342.97 | +4.55 |
| 西IBEX35指数 | 10668.40 | +192.50 |
| 伊FTSE MIB指数 | 21036.97 | +647.02 |
| 南ア 全株指数 | 52076.90 | +3.41.60 |

| NEW YORK | NY終値 | NY高値 | NY安値 |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.72 | 101.80 | 101.64 |
| EUR/JPY | 137.56 | 137.77 | 137.49 |
| GBP/JPY | 174.30 | 174.42 | 174.16 |
| AUD/JPY | 95.27 | 95.28 | 95.09 |
| NZD/JPY | 88.58 | 88.69 | 88.53 |
| EUR/USD | 1.3525 | 1.3541 | 1.3521 |
| AUD/USD | 0.9368 | 0.9369 | 0.9342 |

| 米主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-----------|----------|---------|
| 米ダウ平均 | 17138.20 | +77.52 |
| S&P500 | 1981.57 | +8.29 |
| NASDAQ | 4425.97 | +9.58 |
| その他主要株 | 終値 | 前日比 |
| 🇨🇦 トロント総合 | 15226.34 | +145.02 |
| 🇧🇷 ボルサ指数 | 44009.23 | +48.80 |
| 🇨🇱 ボベスバ指数 | 55717.36 | -256.25 |

7/17 経済指標スケジュール

| | |
|-------|-----------------------|
| 09:00 | 【豪】5月コンファレンスボード景気先行指数 |
| 09:30 | 【シンガポール】6月輸出[除石油] |
| 09:30 | 【シンガポール】6月電子機器輸出 |
| 10:00 | 【NZ】7月ANZ消費者信頼感指数 |
| 15:00 | 【欧】6月新車登録台数[EU-27] |
| 17:30 | 【香港】6月失業率 |
| 18:00 | 【欧】6月消費者物価指数 |
| 18:00 | 【欧】5月建設支出 |
| 20:00 | 【トルコ】政策金利発表 |
| 21:00 | 【ポーランド】6月生産者物価指数 |
| 21:30 | 【米】新規失業保険申請件数 |
| 21:30 | 【米】失業保険継続受給者数 |
| 21:30 | 【米】6月住宅着工件数 |
| 21:30 | 【米】6月建設許可件数 |
| 21:30 | 【カナダ】5月国際証券取扱高 |
| 22:20 | 【南ア】政策金利発表(時間不確定) |
| 23:00 | 【米】7月フィラデルフィア連銀景況指数 |

| コモディティ | 終値 | 前日比 |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1299.80 | +2.70 |
| NY 原油 | 101.20 | +1.25 |
| CMEコーン | 386.75 | +5.00 |
| CBOT 大豆 | 1102.00 | +15.75 |

| 米国債利回り | 本日 | 前日 |
|--------|-------|-------|
| 2年債 | 0.48% | 0.48% |
| 3年債 | 0.98% | 0.97% |
| 5年債 | 1.69% | 1.69% |
| 7年債 | 2.17% | 2.17% |
| 10年債 | 2.53% | 2.55% |
| 30年債 | 3.34% | 3.37% |

7/17 主要会議・講演・その他予定

・セントルイス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.79 ユーロ/円 137.76 ユーロ/ドル 1.3536

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

| 欧州主要株価 | 株価 | 前日比 | 米株価先物 | 株価 | 前日比 |
|---------|---------|---------|-----------------|---------|--------|
| 英 FT100 | 6781.14 | +70.69 | ダウ INDEX FUTURE | 17039 | +51 |
| 仏 CAC40 | 4365.16 | +59.85 | S&P500 FUTURE | 1974.70 | +6.70 |
| 独 DAX | 9851.78 | +132.37 | NASDAQ FUTURE | 3934.50 | +22.00 |

(出所:SBILM)

《企業決算》

米ブラックロック

第2四半期 調整後の1株利益 4.89ドル (予想 4.46ドル)

米BOA

第2四半期訴訟費用除く1株利益は0.41ドル (予想 0.29ドル)

21:00

《 経済指標の結果 》

6月ポーランド消費者物価指コア (前月比) 0.2% (予想 0.1%・前回 0.0%)

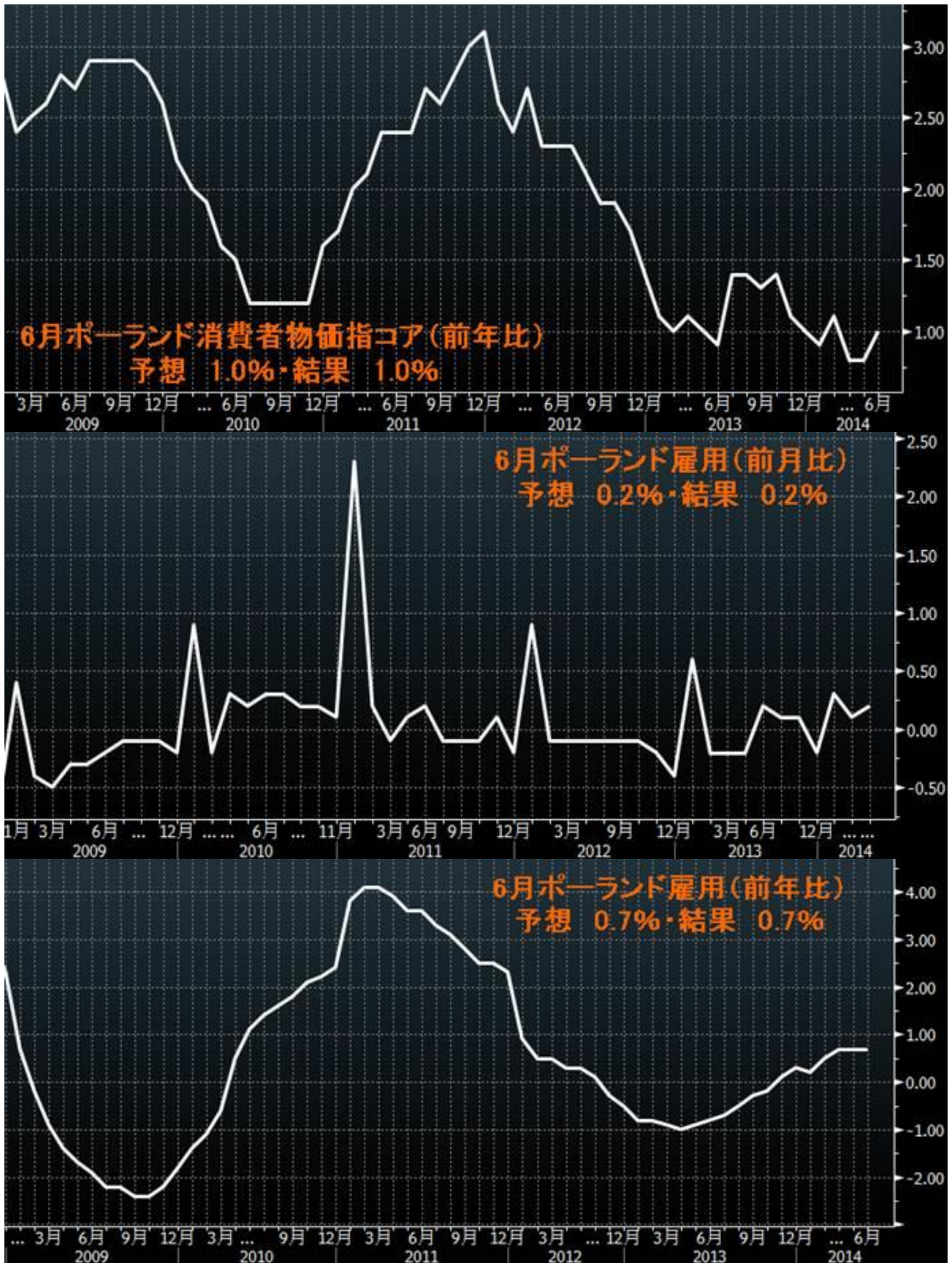
6月ポーランド消費者物価指コア (前年比) 1.0% (予想 1.0%・前回 0.8%)

6月ポーランド雇用 (前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.0%)

6月ポーランド雇用 (前年比) 0.7% (予想 0.7%・前回 0.7%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

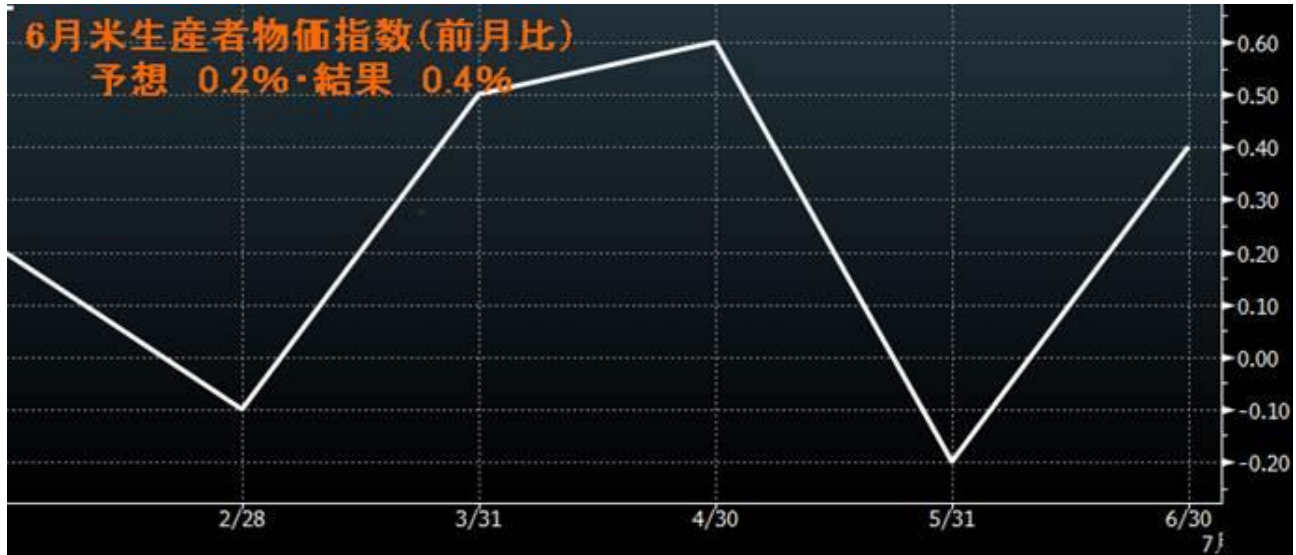
◀ 経済指標の結果 ▶

6月米生産者物価指数(前月比) 0.4% (予想 0.2%・前回 -0.2%)

6月米生産者物価指数[コア] 0.4% (予想 0.2%・前回 -0.1%)

6月米生産者物価指数(前年比) 1.9% (予想 1.9%・前回 2.0%)

6月米生産者物価指数[コア] 1.8% (予想 1.7%・前回 2.0%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 生産者物価指数 ▶

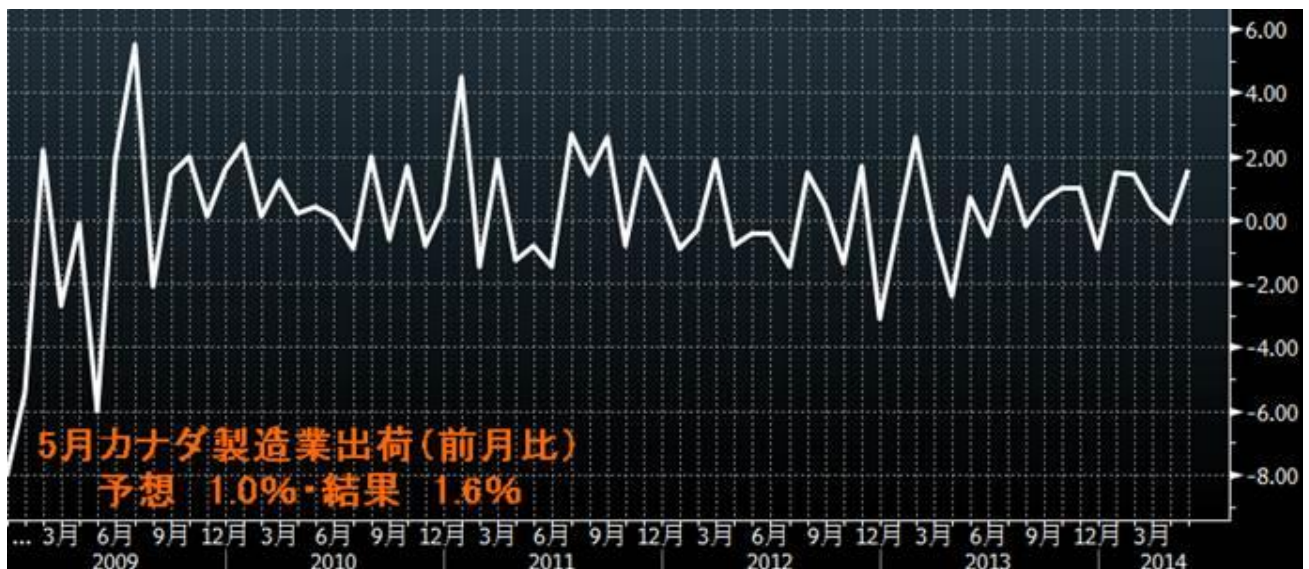
| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|------------|-----|------|-----|------|------|-----|
| 完成品 | 0.4 | -0.2 | 0.6 | 0.1 | 0.2 | 0.3 |
| 除く食品・エネルギー | 0.1 | 0.0 | 0.3 | -0.1 | 0.2 | 0.5 |
| エネルギー全体 | 2.1 | -0.2 | 0.1 | -0.6 | -0.3 | 0.6 |
| 消費財 | 0.5 | -0.2 | 0.6 | 0.1 | 0.2 | 0.3 |
| サービス | 0.3 | -0.2 | 0.6 | 0.1 | 0.3 | 0.1 |

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

5月カナダ製造業出荷(前月比) 1.6% (予想 1.0%・前回 -0.2%)

前回発表の-0.1%から-0.2%に修正



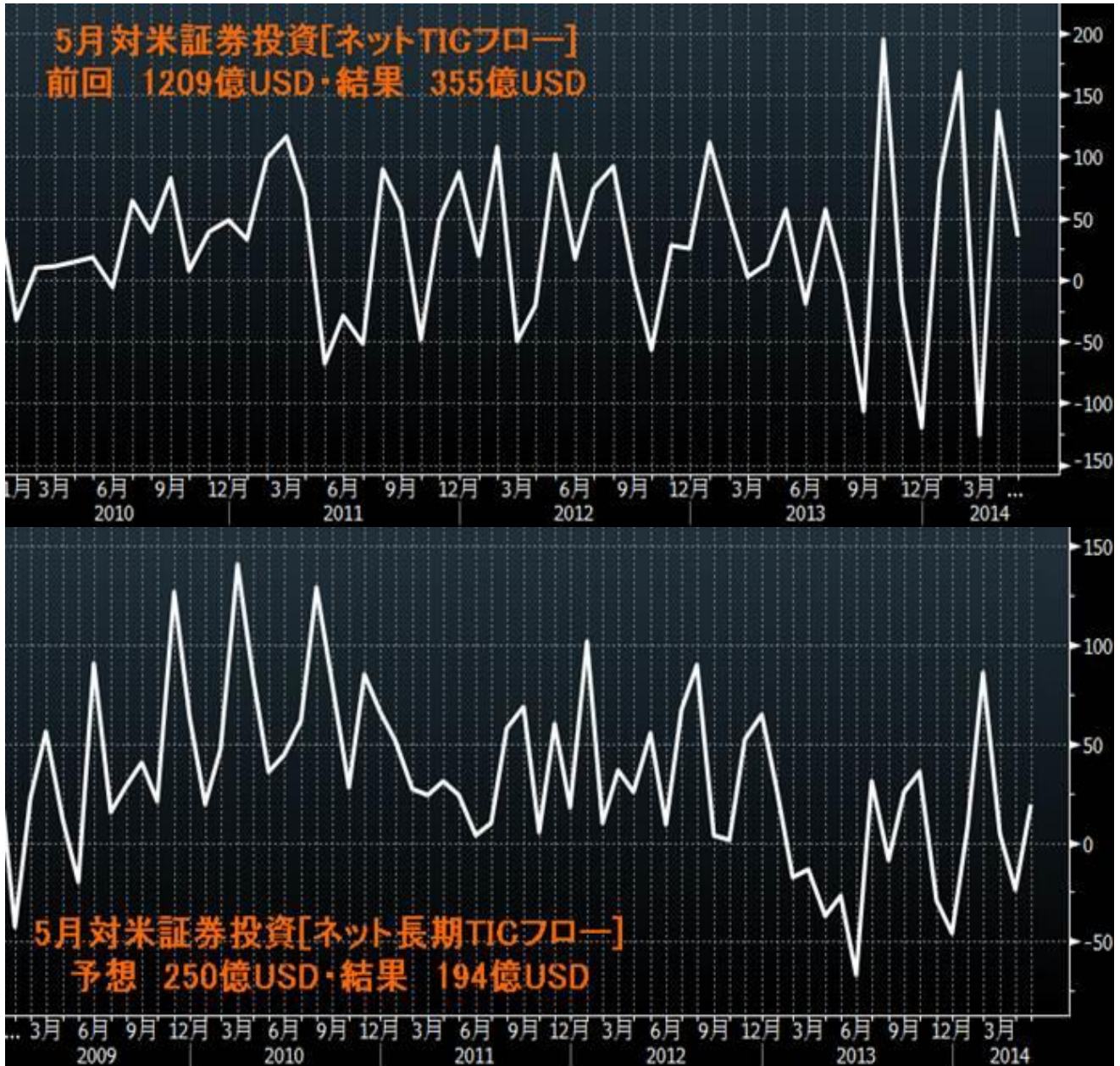
(出所:ブルームバーグ)

22:00

< 経済指標の結果 >

5月対米証券投資[ネットTICフロー] 355億USD (前回 1209億USD)
 前回発表の1368億USDから1209億USDに修正

5月対米証券投資[ネット長期TICフロー] 194億USD (予想 250億USD・前回 -412億USD)
 前回発表の-242億USDから-412億USDに修正



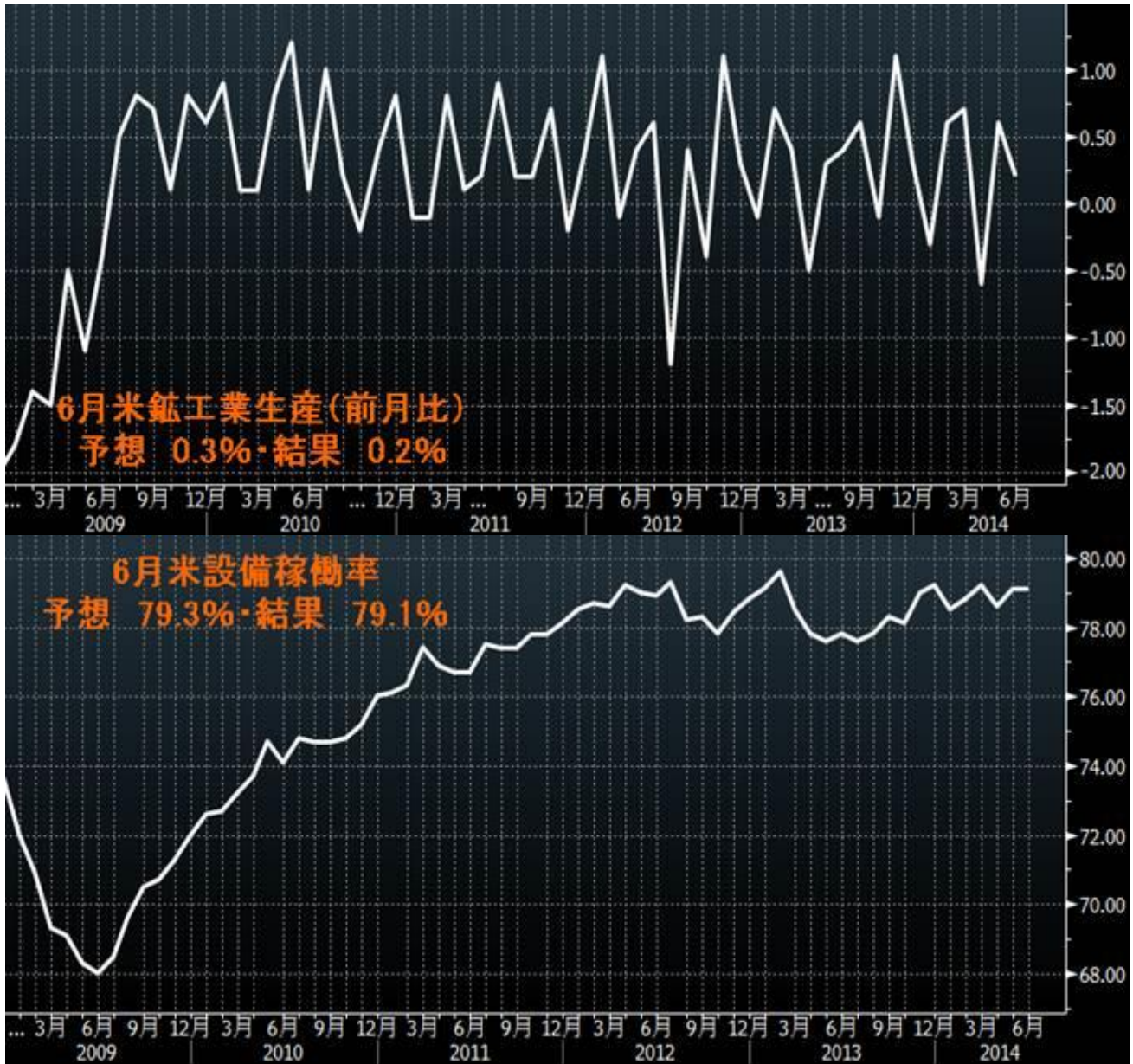
(出所:ブルームバーグ)

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米鉱工業生産（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.5%）
 前回発表の0.6%から0.5%に修正

6月米設備稼働率 79.1%（予想 79.3%・前回 79.1%）



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪米鉱工業生産・設備稼働率≫

6月・5月・4月・3月・2月・1月
 鉱工業生産・・・0.2・0.5・0.0・0.9・1.1・-0.2
 製造業・・・0.1・0.4・-0.3・0.9・1.3・-1.0
 鉱業・・・0.8・1.1・2.0・2.0・0.0・1.1

最終製品・・・0.1・0.0・-0.3・0.8・1.7・-0.7
 原材料・・・0.4・0.8・0.4・1.2・0.4・0.1

設備稼働率・・・79.1・79.1・79.0・79.1・78.6・78.1
 製造業・・・77.1・77.2・77.0・76.9・76.3・75.5
 鉱業・・・90.0・89.9・89.6・88.5・87.4・87.9

22:34

米主要株価

| 米主要株 | 株価 | 前日比 |
|-------|----------|--------|
| ダウ平均 | 17134.12 | +73.44 |
| ナスダック | 4444.37 | +27.98 |

(出所:SBILM)

23:00

≪ 経済指標の結果 ≫

7月米 NAHB 住宅市場指数 53 (予想 50・前回 49)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪NAHB 住宅市場指数≫

7月・6月・5月・4月・3月・2月・1月
 住宅市場指数・・・53・49・45・46・46・46・56
 現状指数・・・57・54・48・50・51・51・62
 見通し指数・・・64・59・57・56・53・54・60
 顧客動向指数・・・39・36・33・31・32・31・40

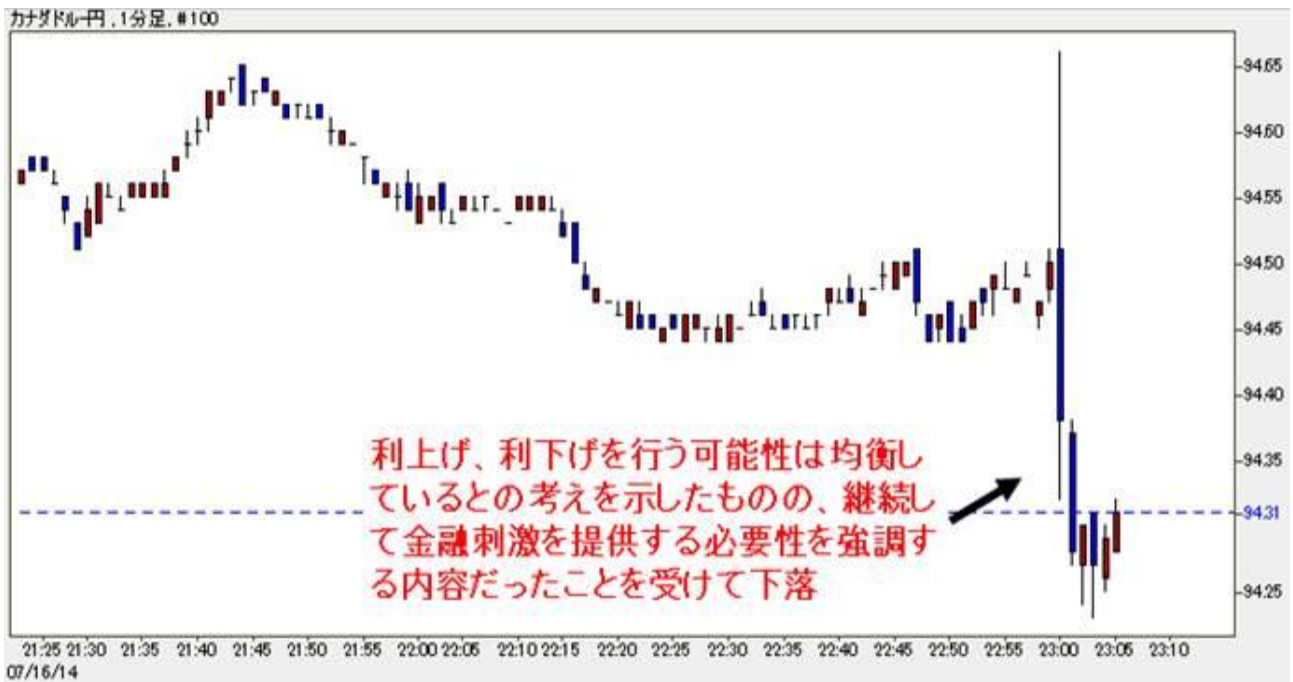
23 : 00

< 経済指標の結果 >

カナダ政策金利 1.00% (予想 1.00%・前回 1.00%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ネットダニアー)

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・753 万バレル減少
ガソリン在庫・・・17.1 万バレル増加
留出油在庫・・・253 万バレル増加

23 : 35

《 NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、米半導体大手の良好な四半期決算の発表や、米メディア・娯楽大手による買収提案の報道を好感して、主要株価は堅調な動きとなっている。また、中国の 4-6 月期の GDP が上昇したことも支援材料となっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 78 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新する動きとなった。

23 : 50

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長～下院金融サービス委員会での質疑応答

- ・「FRB の政策は政府から独立している」
- ・「FOMC は政策正常化の原則を協議している」
- ・「米経済の回復は異例の向かい風を受けてきた」
- ・「政策ルールの設定は FRB の独立性を損なう」
- ・「FRB はバランスシート縮小を計画」
- ・「利上げ開始のタイミングを特定せず」
- ・「出口戦略の鍵となる手段は超過準備付利引き上げ」

0 : 10

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長～下院金融サービス委員会での質疑応答

- ・「低金利は利回り追求を促すことが可能」
- ・「バリュエーションはこれまでの正常値から外れていない」
- ・「株価の適正水準に言及することを拒否」
- ・「低金利は株式に影響を与える要因の一つ」
- ・「株式市場に警戒すべきシグナルは見られない」
- ・「経済については楽観している」
- ・「経済は回復しつつある、成長は加速」

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比-3.6%となった。住宅購入者の減少が響き、過去 5 週間で 4 回目の下げとなった。

①構成指数の購入指数は-7.6%と、2013 年 2 月以来の大幅な下げとなり、借り換え指数は-0.1%となった。また、申請全体に占める借り換えの割合は 53.6% (前週 51.6%) を上回った。

②30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.33% (前週 4.32%)、15 年固定金利型は 3.41% (前週 3.40%) だった。

(2) 6 月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合で前月比+0.4%となり、2 ヶ月ぶりにプラスとなった。サービス需要、食品、エネルギーなどを含むモノの需要ともに前月のマイナスからプラスに転じ全体を押し上げた。特に、ガソリンが大きく値上がりした。生産者物は、前年同月比では 4 月以降、やや上昇幅を広げ安定的に推移している。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は、前月比+0.2%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでは前月比+0.2%、モノは前月比+0.5%となった。

②品目別では、食品が前月比-0.2%、乳製品や魚介の下落が続いた。エネルギー製品全体は+2.1%で、ガソリンは+6.4%と 2012 年 9 月以来の大きな上昇率となった。手数料や輸送コストなどのサービスは前月比+0.3%。

(3) 5 月の米対米証券投資によると、外国の政府と投資家の中長期金融資産取引額は外国人からみて 194 億ドルの買い越しとなった。株式スワップなど短期資産を含む金融資産の取引合計は 355 億ドルの買い越し、米国債は 250 億ドルの買い越し、米国株は 108 億ドルの買い越し、米社債は 53 億 9000 万ドルの売り越し、米政府機関債は 41 億 7000 万ドルの買い越しだった。中国の米国債保有額は+77 億ドルの 1 兆 2700 億ドル。日本は+104 億ドルの 1 兆 2200 億ドル。ベルギーは+40 億ドルの 3624 億ドル。ロシアは-50 億ドルの 1114 億ドルとなった。

(4) 6月の米鉱工業生産は、前月比0.2%と2ヵ月連続でプラスとなった。鉱業、製造業ともプラスを維持したがいずれも上昇率が縮む一方、電力・ガスはマイナスが続いた。生産指数の内訳は、製造業が+0.1%、鉱業は+0.8%、電力・ガスは-0.3%。製造業では、家具関連が+1.4%のプラスとなる一方、自動車・同部品が-0.3%と5ヵ月ぶりのマイナスとなった。設備稼働率は、前月から横ばいの79.1%となった。

(5) 7月のNAHB（全米ホームビルダー協会）米住宅市場指数は53となり、1月以来6ヵ月ぶりに判断基準となる50を上回る結果となった。

①現況指数は57（前月53）、見通し64（58）見込み客39（36）といずれも前月を上回る結果となった。当該指数は、50を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

②地域別では、西部は59（前月53）、中西部は53（前月47）、北東部は37（前月34）、南部は53（前月52）となった。

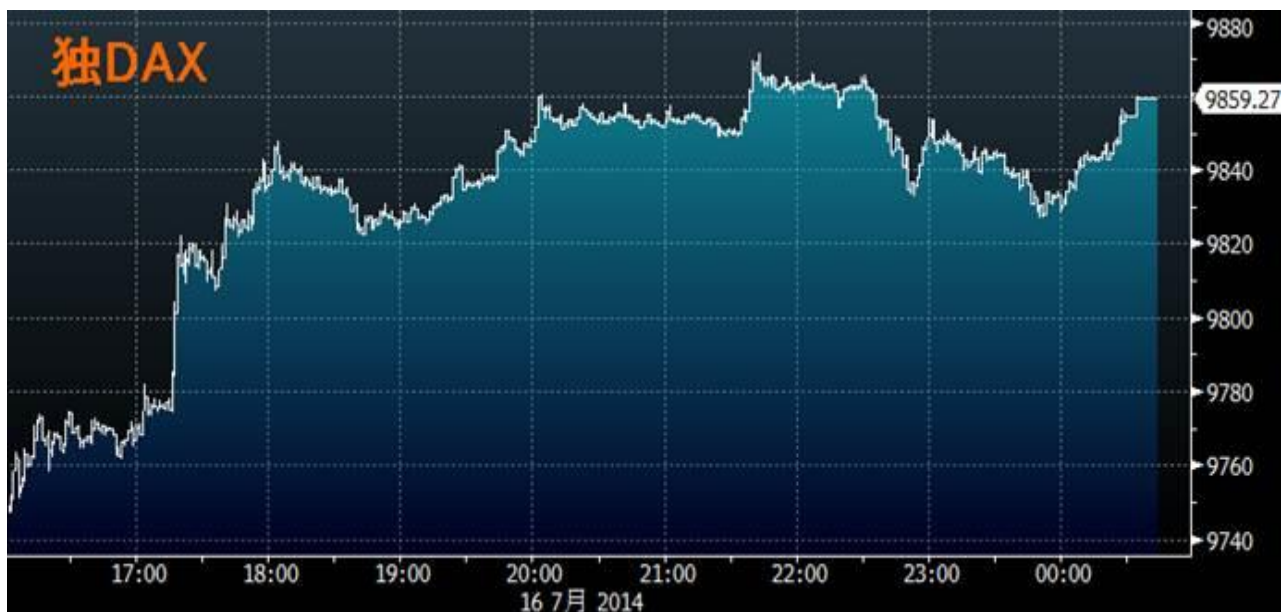
(6) カナダ中銀は、政策金利の翌日物金利を1.00%に据え置くことを決定した。据え置きは2010年10月以来31回連続となった。中銀は、物価上昇の勢いが一時的なもので持続しないと予想。基調的なインフレ圧力は引き続き抑制されているとの認識を示し、「次回の政策金利の変更時期や方向について、中銀は中立の立場にある」とした。

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|------------------|----------|---------|
| 英 FT100 | 6784.67 | +74.22 |
| 仏 CAC40 | 4369.06 | +63.75 |
| 独 DAX | 9859.27 | +139.86 |
| ストック欧州 600 指数 | 342.97 | +4.55 |
| ユーロファースト 300 指数 | 1376.32 | +18.01 |
| スペイン IBEX35 指数 | 10668.40 | +192.50 |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 21036.97 | +647.02 |
| 南ア アフリカ全株指数 | 52076.90 | +341.61 |

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国の4-6月期のGDPが上昇したことや、英国の雇用指標の改善などが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17119.41 (+58.73)、S&P500 1977.36 (+4.08) ナスダック 4431.71 (+15.31)

1:00

◀ 要人発言 ▶

フィッシャー・ダラス連銀総裁～講演

- ・「FRBは10月にバランスシート縮小開始も」
- ・「FRBの政策があまりにも長く超緩和状態にないか懸念」
- ・「FRBは2015年早い時期に主要金利引き上げ開始も」
- ・「米経済はFRBの予想より早く目標到達しつつある」

◀ NY債券市場・午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米経済指標がまちまちの内容だったことを受けてもみ合いの展開となった。6月の生産者物価指数が市場の予想以上に上昇したことでインフレ懸念から米国債が売られたものの、6月の鉱工業生産が予想を下回ったことから買い戻しも入った。

午前の利回りは、30年債が3.35%（前日3.37%）、10年債が2.54%（2.55%）、7年債が2.17%（2.18%）、5年債が1.70%（1.69%）、3年債が0.99%（0.97%）、2年債が0.49%（0.48%）。

◀ 欧州のポイント ▶

①英政府統計局が発表した国際労働機関（ILO）基準の3-5月の失業率は6.5%と、2008年10-12月以来5年半ぶりの低水準となった。2-4月は6.6%だった。また、3-5月の雇用者数は+25.4万人の3060万人と、データ集計が始まった1971年以降で最大となった。同時に発表された6月の失業保険申請ベースの失業者数は、前月比で-3.63万人となり、減少幅は予想を上回った。3-5月の平均週間賃金は、前年同期比+0.3%と、伸び率が2-4月の+0.8%を下回り、2009年5月以来の低水準となった。賞与を除いた賃金上昇率は0.7%で、2001年の統計開始以降の最低となった。

②ECBが公表した、世界の外貨準備に占めるユーロの比率は2013年末時点で24.4%と、為替レート調整後の1年前との比較で0.9%ポイント低下した。一方、ドルの比率は61.2%と前年比横ばいだった。ユーロはドルに次ぐ第2の準備通貨であることに変わらないが、比率は2010年半ば以降低下している。ECBは、ユーロの比率が引き続き低下したと指摘したうえで、「米ドルの比率はほぼ変わらずで、豪ドルとカナダドルの比率はさらに上昇した。」

③EU統計局が発表した5月のユーロ圏貿易収支は、季節調整前で154億ユーロの黒字となり、黒額は市場予想の165億ユーロを下回った。前年同月は146億ユーロの黒字だった。4月の貿易収支は154億ユーロの黒字に改定された

3:00

◀ 地区連銀景況報告 ▶

- ・「12地区すべてで個人消費が拡大」
- ・「12地区すべてで製造業が拡大」
- ・「6月は緩慢ないし緩やかに成長、個人消費拡大」
- ・「大半の地区で経済見通しを楽観」

3:30

NY金は、中心限月が前日比2.70ドル高の1オンス=1299.80ドルで取引を終了した。

4:30

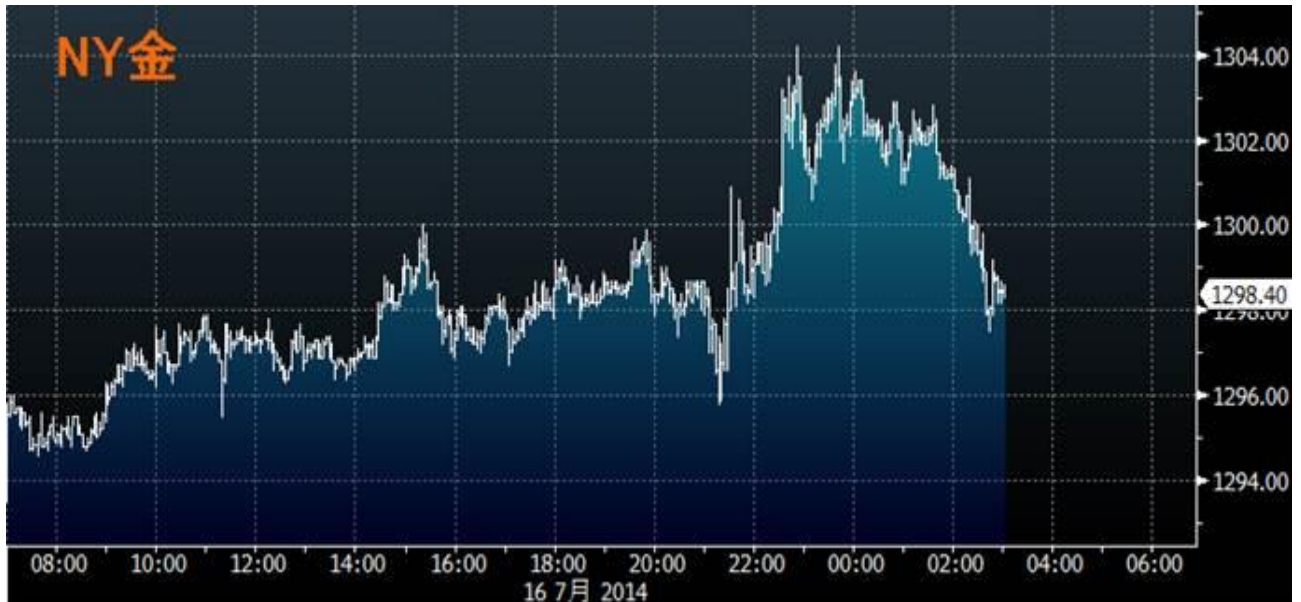
NY原油は、中心限月が前日比1.24ドル高の1バレル=101.20ドルで取引を終了した。

| 主要商品 | 終値 | 前日比 |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1299.80 | +2.70 |
| NY 原油 | 101.20 | +1.25 |

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

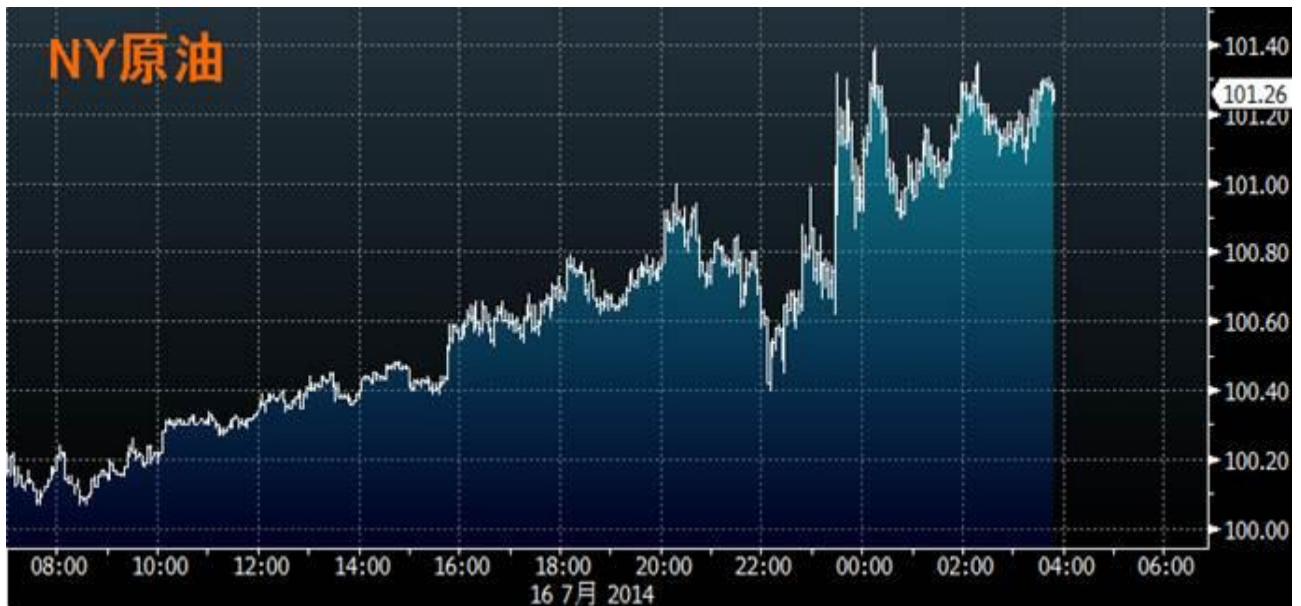
NY 金は、前日までの続落で約 1 ヶ月ぶりの安値水準となったことから値頃感の買い戻しが優勢となった。ただ、米国の早期利上げへの警戒感が根強いほか、ドルが上昇したことでドルの代替資産としての需要が弱まったことから売りも出て、上げ幅は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、米石油統計で、原油在庫が大幅に減ったことに加え、ガソリンの在庫増加が市場予想よりも小幅だったことから、需給の緩みに対する懸念が後退して買いが優勢となった。また、中国の GDP が堅調だったことも支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

| 主要株価 | 終値 | 前日比 | 高値 | 安値 |
|----------|----------|--------|----------|----------|
| ダウ平均株価 | 17138.20 | +77.52 | 17139.35 | 17061.91 |
| S&P500 種 | 1981.57 | +8.29 | 1983.94 | 1975.67 |
| ナスダック | 4425.97 | +9.58 | 4448.87 | 4419.71 |

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米半導体大手の良好な四半期決算の発表や、米メディア・娯楽大手による買収提案の報道を好感して、主要株価は堅調な動きとなった。また、中国の4-6月期のGDPが上昇したことも支援材料となっていた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比78ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新する動きとなり、終値ベースも最高値を更新して引けた。



(出所:ブルームバーグ)

| 主要通貨 | NY 終値 | NY 高値 | NY 安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.72 | 101.80 | 101.64 |
| EUR/JPY | 137.56 | 137.77 | 137.49 |
| GBP/JPY | 174.30 | 174.42 | 174.16 |
| AUD/JPY | 95.27 | 95.28 | 95.09 |
| NZD/JPY | 88.58 | 88.69 | 88.53 |
| EUR/USD | 1.3525 | 1.3541 | 1.3521 |
| AUD/USD | 0.9368 | 0.9369 | 0.9342 |

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米長期金利が低下したことを受けて、ドル売り円買いが先行し、序盤のドル円・クロス円はやや上値の重い動きも見られた。ただ、米株価が最高値を更新するなど堅調な動きとなったことを受けて、底固い動きも見られた。特に、豪ドル/円などは堅調な動きが続いた。ユーロは、ユーロ圏経済の先行き不透明感などを背景に、主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。